

野口レポート

NO. 120

平成18年9月1日
発行: 有限会社 アルファ野口
川崎市中原区中丸子 538 ミルベージュマルタ 1F
TEL 044-422-1337 FAX 044-455-0208
文責: 野口 賢次

感謝して受け容れる

『釈迦は、この世の悩み・苦しみの根元は、「思いどおりにならないこと」と見抜いた。

だから、「思いどおりにしようとしなくて、受け容れよ」と言った。その最高の形は、「ありがとう」と感謝することだったのです。』

＊釈迦の教えは「感謝」だった＊ 小林正観 著（風雲舎）より。

斎藤一人さんがCDのなかで次のような話をしています。

『お釈迦様は悩みをなくそうと思い修行をしました。滝に打たれ 断食もし 極限まで自分を追い詰めました。

難行苦行のあとに言った言葉は「無駄である」。』

二つの話は苦悩の根元を見抜いたお釈迦様の話です。

「自分の思いどおりにしたいのに、それが叶わない」、だから人は悩み・苦しみます。「思いどおりにしようとしなくて、受け容れよ」、これができれば、悩み・苦しみは一気に消滅に向かいます。

ある私の強い姑さんがいました。お嫁さんは大変だと思いました。だが、このお嫁さん悩みや苦勞を一切顔に出さず、常に明るくふるまっています。ここへ嫁いだから成長できたと感謝さえしています。思いどおりにしようとしなくて、受け容れてしまったのです。

家には波風も立たず、姑さんは寿命を全うし旅立っていきました。幸せなおばあさんでした。

相続コーディネートの流れのなかで、遺産分割の話し合いに関わる（弁護士法に注意）ことが、どうしても出てきます。

遺産が全部現金なら、多い少ないだけの話しです。だが、土地が多くを占める財産構成のなかで、不動産の実質の価値を、どう遺産分割に反映させていくかが難しいところです。

知人の紹介で、ある相続のコーディネートを引き受けました。問題点をまとめ、案件に見合った、税理士、土地家屋調査士、司法書士をセッティングし、コーディネートしていきます。

不動産の価値を公平にアドバイス、難航した遺産分割もようやくまとまり、いよいよ明日は遺産分割協議書の調印です。

夕方、相続人の一人から突然電話が入りました。取引先の銀行員から、「それでいいのですか」と言われたそうです。この行員さんに不動産の価値や、これまでの経緯など分かるはずがありません。

ここで話が壊れたら今までの苦労が水の泡、久々に寝つきの悪い夜を過ごしました。想定外の出来事でした。だが、もう少し苦労をしろとの「天の声」と言い聞かせ、この事実を受け容れました。

本人を説得するには時間がありません。翌朝一番で他の相続人に連絡し、事情を説明し半歩譲っていただき、代償金の調整で何とか収まり、無事調印することができました。

なぜ余計なことを言ったんだ、どうしてくれるんだ、そんな気持ちになっていたらハンコは揃わなかったでしょう。

いい経験をさせてくれた銀行員さんに感謝です。